

フォーラム 『若手研究者の育成に資する評価は、 どうあるべきか考える』

2024年12月16日(月) 13:00-16:00

場所: 広島大学学士会館レセプションホール(東広島キャンパス)

「評価」は、何らかの目的があって実施される手段である。現在、科学技術・学術の分野において、様々な目的(資源配分の決定、進捗度の点検、等)の「評価」が実施されている。とくに若手研究者は、研究活動の過程で何度も「評価」を受けている。本フォーラムでは国内外の現状をふまえて、「若手研究者の育成」に資する「評価」とはどうあるべきかを考える。

プログラム

司会: 石田 洋子 広島大学 副学長(ダイバーシティ担当)

- 13:00 開会挨拶 宮崎 誠一 広島大学 理事・副学長(研究担当)
- 13:05 趣旨説明 石田 洋子 広島大学 副学長(ダイバーシティ担当)
- 13:15 基調講演 「若手研究者の活躍と成長を促す場づくりを目指して」
吉武 博通 学校法人東京家政学院理事長/筑波大学名誉教授
- 13:50 さまざまな視点からの「評価」についての報告
- 1) 「島根大学の取組から見てきた若手・女性研究者評価の課題」
河野 美江 島根大学 副学長(SDGs・ダイバーシティ担当)
 - 2) 「広島大学・島根大学調査分析事業:スウェーデン、ドイツ、米国における女性研究者評価について」
石田 洋子 広島大学 副学長(ダイバーシティ担当)
 - 3) 「HIRAKU-Globalにおける若手研究者の“performance review”システム」
相田 美砂子 愛媛大学 監事/広島大学 特命教授
- 14:35 休憩
- 14:45 若手研究者から見た「評価」
金田一 清香 広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授
酒井 大史 愛媛大学プロテオサイエンスセンター 助教
- 15:15 全体討論
- 15:45 討論のまとめ 山村 康子 科学技術振興機構(JST) プログラム主管
- 15:55 閉会挨拶 石田 洋子 広島大学 副学長(ダイバーシティ担当)



ハイブリッド開催

学生、若手研究者、教職員、
一般のみなさまのご参加を歓迎いたします。

参加(無料)
(要申込)

●託児あり(無料)

締切: 12月13日(金) 16:00

申込: 下記URLまたは右の二次元コードから

<https://forms.office.com/r/LwYakeyZSs>

要申込(12月10日(火)までに)



主催

広島大学

「地方協奏による世界トップクラスの研究者育成(HIRAKU-Global)」 代表機関: 広島大学 共同実施機関: 山口大学、徳島大学、愛媛大学
(文部科学省 世界で活躍できる研究者戦略育成事業(令和元年度採択))

「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく働きがいのある研究環境づくりのための調査分析」 代表機関: 広島大学 共同実施機関: 島根大学
(文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(調査分析)(令和5年度採択))

「女性科学技術フェロシップ制度の創設による次世代の積極的育成」(広島大学)

(文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)(令和3年度採択))

「SAN'INダイバーシティ推進ネットワーク〜多様な力で地球の未来をつくる〜」 代表機関: 島根大学 共同実施機関: 島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校
(文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)(令和元年度採択))